

平成29年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	滝澤 和美
		全体計画						経費区分		-		内線	3380
事務事業名	7725 地域医療福祉ネットワーク推進事業												
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課												
施 策	01010200 地域医療を支える体制づくり												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	040101 衛生費・保健衛生費・保健衛生総務費											
	事業	040000 地域医療福祉ネットワーク推進事業											
事業目的						事業概要・効果							
住民が住み慣れた地域で安心して健やかに生活できることを目指し、地域医療福祉のネットワーク構築を推進する。						須高地域医療福祉推進協議会に専門委員会を設置し、感染症及び大規模災害時の医療体制整備、医師・看護師不足、在宅医療福祉介護などの課題について取り組む。感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集・情報提供によりインフルエンザ等の感染症の拡大防止に繋げる。情報共有システム（在宅医療安心ネット）の導入により在宅医療の24時間サポート体制（須高在宅ネットワーク）を提供する。 ※平成28年度から、一般会計地域医療福祉ネットワーク推進事業費と介護保険特別会計在宅医療・介護連携推進事業を合算し、事業費等を計上することとする。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集・情報提供 ・ 在宅医療連携拠点事業の取り組み（国より示された「在宅医療・介護連携推進事業8項目」に沿って、三市町で取組を整理確認し、継続実施することとした。） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集・情報提供 ○ 在宅医療・介護連携推進事業の取り組み（国より示された「在宅医療・介護連携推進事業8項目」に沿って、三市町で継続して実施した。）
平成29年度 予定	平成30年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ● 感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集・情報提供 ○ 在宅医療・介護連携推進事業の取り組み（国より示された「在宅医療・介護連携推進事業8項目」に沿って、三市町で継続して実施する。） 	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	24時間在宅療養生活のための在宅医療安心ネットを活用した「須高在宅ネットワーク」の参加機関				
算式	「須高在宅ネットワーク」参加機関				単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	39	42	45	48
	実績	40			50
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		1,981	2,507
特定財源	国庫支出金	481	581
	都道府県支出金	241	291
	地方債	0	0
	その他	796	987
一般財源		463	648
人員数 (人)	正規職員	1.0	1.0
	嘱託職員	1.0	1.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	7,219.0	7,219.0
	嘱託職員	2,755.0	2,755.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	9,974.0	9,974.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		11,955.0	12,481.0

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	160	各種研修会等講師謝礼 等
11節 需用費	343	研修会資料作成用消耗品、自動車燃料費、集いポスター・チラシ印刷、「須高地域で安心して医療・介護・福祉が受けられるために」改訂等
13節 委託費	39	須高地域医療情報ネットワークシステム業務委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,439	旅費、役務費、使用料及び賃借料

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	330	講演会・講座等講師謝礼 等
11節 需用費	395	講演会用・事務用消耗品、自動車燃料費等
13節 委託費	200	須高地域医療情報ネットワークシステムプログラム修正
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,582	旅費、役務費、使用料及び賃借料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	須高地域で広域的に取組むべき課題（感染症対策・災害時の医療体制整備・在宅医療福祉介護）について事業実施している。 平成28年度から介護保険法に地域支援事業として位置付けられ、介護保険特別会計の在宅医療・介護連携推進事業として、国が示した8項目に継続して取組んでいる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	三市町村共通の課題を、広域的に取組むことで効果が得られる事業を実施している。 感染症対策や災害時の医療体制整備を行うことで、住民の安心安全な生活の一助となっている。 今後の超高齢化、在宅療養・介護、在宅での看取りに関しては、住民への普及啓発を行うことが有効である。 多職種の研修を継続して行い、支援者側への情報提供・情報交換の場を作る意味でも有効である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	一般会計・介護保険特別会計とも須高三市町村で人口割による負担を行っている。 在宅医療・介護連携推進事業費（介護保険特別会計）の須坂市負担分の財源内訳は、市単独分、国県の地域支援事業交付金、介護保険料となっている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

感染症早期探知システムにより集積している感染症情報については、感染症予防・拡大防止に向けた有効な情報提供を行う。
 災害時の医療体制整備として策定した「須高地域災害時医療救護活動マニュアル」を活用し、三師会と協力連携し総合防災訓練での医療救護活動訓練を実施する。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
須高地域として感染症や防災対策を連携して実施していく。		須高地域の医療・介護・福祉のサービスが住民にとって切れ目なく提供できるよう関係機関の連携を進めている。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	